

科目名	CSU (コミュニケーションスキルアップ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田弘子
学科・コース	クリエイティブデザイン科 1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)		
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会認定カウンセラー 心療内科非常勤カウンセラー						
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。						
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。						
評価方法と基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験 30%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義 集団演習	<自己紹介ワーク>クラス仲間と交流する。「10の基本スキル」をチェックする。		クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	4月25日	講義 集団演習	<クラスの理解>仲間のことを知る。グループ会話を経験する。CSUアンケート		
3	5月9日	集団演習	<名画鑑賞>協同作業を経験する。作品のタイトルとイメージを発表する。		
4	5月16日	講義 集団演習	<アサーション>適切な自己主張を理解する。上手な頼み方・断り方を学ぶ。		自己表現と他者への関わりを振り返る。
5	5月30日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義①>教科書学習。「基本的対話スキル」を学ぶ。		教科書P8～P40を予習・復習する。
6	6月13日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義②>教科書学習。仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。		教科書P41～P92を予習・復習する。
7	6月20日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義③>教科書学習。就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。		教科書P93～P124を予習・復習する。
8	6月27日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義④>教科書学習。顧客への「サービスマインド」を学ぶ。		教科書P125～P157を予習・復習する。
9	7月4日	講義 個人演習	<エゴグラム>心の構造とその特徴を知る。自分の良いところを見つける。		日常の自分の行動を振り返る。
10	7月11日	集団演習	<なぞの宝島>情報をまとめて課題を達成する。チームワークを経験する。		クラス仲間とコミュニケーションをとる。
11	7月18日	集団演習	<砂漠で遭難！>コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。		
12	9月5日	集団演習	<おもしろ村>情報をまとめて課題を達成する。チームワークを振り返り発表する。		
13	9月12日	集団演習 講義	<バスは待ってくれない>協同作業を通して、集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。		
14	9月19日	個人演習	<試験>CSUの振り返り CSUアンケート		前期に経験したことを思い出す。
15	検討中	試験	CSU検定試験		
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。		
【使用教科書・教材・参考書】					
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント					

科目名	クリエイティブワークⅠB	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松前憲二
学科・コース	クリエイティブデザイン科Ⅰ年A (コミックイラスト専攻)	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2		
教員の略歴	グラフィックデザイナー、イラストレーター、アートディレクター、クリエイティブディレクター 企画デザインとキャラクター制作の会社を経営						
授業の学習 内容	クリエイティブな仕事をするためには、他者の意見を取り入れたり、自分の考えを明確に伝えることが必要になります。いくら絵が上手くなっても、それを活かさないと意味がありません。コミュニケーションだけではなく、コンセンサスを図れるようになるための授業です。 この授業は全ての科目と関係します。そしてフリーランスは、もちろん。ゲーム会社やデザインの会社などの職に従事するために必要です。 他者と意見を交わし、自ら問題を発見し、仲間と解決できるようになってもらいます。 授業はアクティブラーニング(グループ授業)方式です。具体的な内容としては、グループの話合いでマスコットキャラクターづくりのコンセプトを決め、キャラクターを考え、分担作業で企画書をつくりとプレゼンテーションをやりま						
到達目標	仲間とのコンセンサス(意見や考えの一致・合意)をとれるようになる。 マーケティングのことや、コンセプトの作り方を覚える。 グループでひとつの企画書をつくり、うまく伝えるためのプレゼンテーションができる。 グループ内での自分のポジションを見つけることができる。 社会や企業の仕掛けを知り、自分の進むべき方向性を見つけられる。 ※後期では、実際に2020年日本キャラクター大賞学生部門に挑戦してもらいます。						
評価方法と基準	①グループでつくる企画書40% ②グループのまとめ15% ③グループでプレゼンテーション15% ④個人の小テスト15% ⑤個人のレポート15% 企画内容を一番に重視し、グループのまとめと進行状況でコンセンサスが図れているか判断します。 プレゼンテーションは分かりやすさを重視します。 小テストは個人的に授業で話す内容を理解しているかを判断し、レポートは社会の理解を深めているか確認するとともに、プレゼンテーションの練習課題とも考えています。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	○授業の説明●グループをつくるための議論① ●グループをつくるための議論②●グループ決定	●ニュースレポート ●キャラクターアイデア①(練習課題)
2	4月27日	講義・演習	○キャラクターのことがわかる。 ①グループ名などを決める ②マスコットキャラクターを持ってない団体を探す。	●ニュースレポート ●キャラクターアイデア②(練習課題)
3	5月11日	実技	○マーケティングのことがわかる。 ③団体を決める。→団体のことを調べる。	●ニュースレポート ●キャラクターアイデア③(練習課題)
4	5月18日	実技	○ターゲットのことがわかる。 ④団体の特徴を見つける。	●ニュースレポート ●キャラクターアイデア④(練習課題)
5	5月25日	実技	○B2C、B2Bのことがわかる。 ⑤マスコットキャラクターをつくる理由を考える。	●ニュースレポート(ニュースの発表の準備) ●団体企画キャラクターアイデア
6	6月1日	小テスト・講義・演習	○小テスト(これまでの授業理解の確認) ○キャラクターづくりのポイント ⑥マスコットキャラクターを考える。	同上
7	6月15日	講義・演習	○メディアのことがわかる。 ⑦展開を考える。	同上
8	6月22日	実技	○企画書のことがわかる。 ⑧キャラクターの仲間をつくる。⑨企画書をつくる。	●ニュースレポート ●分業/作画・展開・企画文章
9	6月29日	実技	○プレゼンテーションのことがわかる。 ⑩プレゼンテーション用の流れをつくる。	同上
10	7月6日	小テスト・実技	○小テスト(これまでの授業理解の確認) ⑩キャラクター、企画書、プレゼンの準備と確認	同上
11	7月13日	実技	⑩キャラクター、企画書、プレゼンの準備と確認	同上
12	7月20日	実技	⑩キャラクター、企画書、プレゼンの準備と確認	同上
13	9月7日	実技	●企画書提出	プレゼン準備
14	9月14日	実技	●プレゼンテーション	
15	9月21日	試験・講義	●課題評価試験 ●プレゼンテーション反省会	
準備学習 時間外学習			●新商品などのニュースのレポートと、キャラクターアイデアスケッチを毎週提出。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	英会話	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (1)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がり恥づかしがったりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることが出来るようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	試験対策授業	オンラインプラクティス ALL Unit
14		試験	定期試験	定期試験の復習
15		講義	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鬼丸友子
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一1年A留学生	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	滋慶グループで日本語能力試験対策N1,N2及びビジネス日本語授業を歴任						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※ 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※ 後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわ〜るどフェスタでの発表を目指します。						
到達目標	① 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ② 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③ チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1) 出席率 50% ※ 授業態度が不真面目な場合は出席率から減点対象 2) 評価点 50% ① コンセプト ② クリエイティビティ ③ プレゼンテーション ※ 提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義と演習	自己紹介が出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
2	5月9日	講義と演習	自己紹介が出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月16日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月23日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
5	5月30日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月13日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月20日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	6月27日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月4日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月11日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	7月18日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月5日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月12日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月19日	試験	プレゼンテーション試験	課題制作
15	9月末	課外授業	浅草(仮)探索ツアー	東京探索
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント及びデータにて配布				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 中野 純子
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一1年A留学生	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1単位	
教員の略歴	TCA留学生サポートセンター、中学・高校英語教員免許取得					
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※ 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※ 後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわ〜るどフェスタでの発表を目指します。					
到達目標	① 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ② 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③ チーム制作で発表原稿を作れるようになる。					
評価方法と基準	1) 出席率 50% ※ 授業態度が不真面目な場合は出席率から減点対象 2) 評価点 50% ① コンセプト ② クリエイティビティ ③ プレゼンテーション ※ 提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義と演習	自己紹介が出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
2	5月9日	講義と演習	自己紹介が出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
3	5月16日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
4	5月23日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
5	5月30日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
6	6月13日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
7	6月20日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る (3)	交換日記 (記入と総評黙読)
8	6月27日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
9	7月4日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
10	7月11日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る (3)	交換日記 (記入と総評黙読)
11	7月18日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
12	9月5日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
13	9月12日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る (3)	交換日記 (記入と総評黙読)
14	9月19日	試験	プレゼンテーション試験	課題制作
15	9月末	課外授業	浅草(仮)探索ツアー	東京探索
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント及びデータにて配布				

科目名	CSU(コミュニケーション・スキル・アップ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員 水谷 佐和子
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一1年B (ライトノベル&シナリオ専攻)	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30時間 1単位	
教員の略歴	2004年よりTCA等でCSU講師を務める・カウンセリング学会認定カウンセラー					
授業の学習 内容	1. 社会や仕事に必要なコミュニケーションの知識と実践力を磨く 2. クラスの関係作りを進めて、学校生活の意欲を育む 3. 自己理解・他者理解を深め、自分らしさを活かしながら、他者と協力する力を養う					
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力を向上させる(話す・聴くを通してお互いを理解する) 2. 自己表現力を高める(自分が思っていることを、わかりやすく言葉にして相手に伝える) 3. チームプレイ力を身につける(様々な人たちと協力して、課題を達成する) 4. コミュニケーションスキルアップ検定に合格する 5. 社会人マナーを理解し、出席を重視する					
評価方法と基準	出席率:50%      評価点(課題/試験評価):50%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	CSUとは？自己紹介ワーク	クラスメートの名前を覚えよう
2	4月25日	講義・演習	Who am I ?」を書き出し、相互理解を深める	クラスメートと話して知り合おう
3	5月9日	講義・演習	「好きなものマップ」を交換しながら対話する	相手の好きなものに関心を持とう
4	5月16日	講義・演習	グループワーク「NASA・月からの脱出」	意見が違うとき、理由を聞こう
5	5月30日	講義・演習	アサーション:適切な自己主張を学ぶ	「上手な頼み方・断り方」を試そう
6	6月13日	講義・演習	集中講義Ⅰ「コミュニケーション検定」	教科書第1章・第2章のポイント確認
7	6月20日	講義・演習	集中講義Ⅱ「コミュニケーション検定」	教科書第3章のポイント確認
8	6月27日	講義・演習	集中講義Ⅲ「コミュニケーション検定」	教科書第4章のポイント確認
9	7月4日	講義・演習	集中講義Ⅳ「コミュニケーション検定」	教科書第5章のポイント確認
10	7月11日	講義・演習	グループワーク「ブロックモデル」	チームワークを意識しよう
11	7月18日	講義・演習	「夏休みプラン」を立て、話し合う	計画を見直しながら夏休みを過ごそう
12	9月5日	講義・演習	グループワーク「クルーザー」	価値観の相違を楽しもう
13	9月12日	講義・演習	クラスワーク「私のイメージ・四面鏡」	イメージと実際の相違を発見しよう
14	9月19日	講義・演習	CSUの振り返り	
15	未定	試験	CSU検定試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 教科書「コミュニケーション検定」				

科目名	ビジネスツール	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼ー1年B	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 (2単位)		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word及びMicrosoft Powerpointの操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	アプリケーションの特徴を活かしてビジネス書類の作成ができるようにする。						
評価方法と基準	出席率:50% 評価点(課題評価):50%(各授業の中で演習する書類をきちんと作成する。宿題を提出する)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	ガイダンス	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4月26日	講義・演習	word:基本的な入力・編集・操作	授業の復習として宿題を課す
3	5月10日	講義・演習	word:各種文字修飾、文書レイアウト	授業の復習として宿題を課す
4	5月17日	講義・演習	word:各種文字修飾、文書レイアウト	授業の復習として宿題を課す
5	5月24日	講義・演習	word:図形、画像の利用	授業の復習として宿題を課す
6	5月31日	講義・演習	word:表組みの作り方	授業の復習として宿題を課す
7	6月14日	講義・演習	word:ビジネス文書作成	授業の復習として宿題を課す
8	6月21日	講義・演習	Powerpoint:基本的な入力・編集・操作。	授業の復習として宿題を課す
9	6月28日	講義・演習	Powerpoint:スライドの作り方	授業の復習として宿題を課す
10	7月5日	講義・演習	Powerpoint:図形、画像、表組みの利用	授業の復習として宿題を課す
11	7月12日	講義・演習	Powerpoint:良いスライドを作るには	授業の復習として宿題を課す
12	7月19日	講義・演習	Powerpoint:スマートアート	授業の復習として宿題を課す
13	9月6日	講義・演習	Powerpoint:アニメーションや画面効果	授業の復習として宿題を課す
14	9月13日	講義・演習	Powerpoint:プレゼンテーションを作る	授業の復習として宿題を課す
15	9月20日	試験	word・Powerpoint:試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	英会話	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋-1年B	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (1)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learningに取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がり恥ずかしがたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	試験対策授業	オンラインプラクティス ALL Unit
14		試験	定期試験	定期試験の復習
15		講義	振り返り	前回までの内容の確認
準備学習 時間外学習		自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				
東京コミュニケーションアート専門学校 (クリエ)				



科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鬼丸友子
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一1年B留学生	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	滋慶グループで日本語能力試験対策N1,N2及びビジネス日本語授業を歴任						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※ 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※ 後期は日本語スピーチコンテスト・エドがわ〜んどフェスタでの発表を目指します。						
到達目標	① 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ② 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③ チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1) 出席率 50% ※ 授業態度が不真面目な場合は出席率から減点対象 2) 評価点 50% ① コンセプト ② クリエイティビティ ③ プレゼンテーション ※ 提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義と演習	自己紹介が出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
2	5月9日	講義と演習	自己紹介が出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月16日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月23日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
5	5月30日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月13日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月20日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	6月27日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月4日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月11日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	7月18日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月5日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月12日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月19日	試験	プレゼンテーション試験	課題制作
15	9月末	課外授業	浅草(仮)探索ツアー	東京探索
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント及びデータにて配布				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中野 純子
学科・コース	クリエイティブデザイン科 専一1年B留学生	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1単位		
教員の略歴	TCA留学生サポートセンター、中学・高校英語教員免許取得						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※ 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※ 後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわ〜でフェスタでの発表を目指します。						
到達目標	① 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ② 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③ チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1) 出席率 50% ※ 授業態度が不真面目な場合は出席率から減点対象 2) 評価点 50% ① コンセプト ② クリエイティビティ ③ プレゼンテーション ※ 提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義と演習	自己紹介が出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
2	5月9日	講義と演習	自己紹介が出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
3	5月16日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
4	5月23日	講義と演習	自分の趣味を伝えることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
5	5月30日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
6	6月13日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
7	6月20日	講義と演習	自分の国について伝えることが出来る (3)	交換日記 (記入と総評黙読)
8	6月27日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
9	7月4日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
10	7月11日	講義と演習	自分の好きなものを語ることが出来る (3)	交換日記 (記入と総評黙読)
11	7月18日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る (1)	交換日記 (記入と総評黙読)
12	9月5日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る (2)	交換日記 (記入と総評黙読)
13	9月12日	講義と演習	自分の学んでいることについて伝えることが出来る (3)	交換日記 (記入と総評黙読)
14	9月19日	試験	プレゼンテーション試験	課題制作
15	9月末	課外授業	浅草(仮)探索ツアー	東京探索
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント及びデータにて配布				

科目名	PCデジタル基礎	必修 選択	選択	年次	3年	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一3年A	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 (2単位)		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word及びMicrosoft Powerpointの操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	アプリケーションの特徴を活かしてビジネス書類の作成ができるようにする。						
評価方法と基準	出席率:50% 評価点(課題評価):50%(各授業の中で演習する書類をきちんと作成する。宿題を提出する)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4月23日	講義・実技	word: 基本的な入力・編集・操作	授業の復習として宿題を課す
3	5月7日	講義・実技	word: 各種文字修飾、文書レイアウト	授業の復習として宿題を課す
4	5月14日	講義・実技	word: 各種文字修飾、文書レイアウト	授業の復習として宿題を課す
5	5月28日	講義・実技	word: 図形、画像の利用	授業の復習として宿題を課す
6	6月11日	講義・実技	word: 表組みの作り方	授業の復習として宿題を課す
7	6月18日	講義・実技	word: ビジネス文書作成	授業の復習として宿題を課す
8	6月25日	講義・実技	Powerpoint: 基本的な入力・編集・操作。	授業の復習として宿題を課す
9	7月2日	講義・実技	Powerpoint: スライドの作り方	授業の復習として宿題を課す
10	7月9日	講義・実技	Powerpoint: 図形、画像、表組みの利用	授業の復習として宿題を課す
11	7月16日	講義・実技	Powerpoint: 良いスライドを作るには	授業の復習として宿題を課す
12	9月3日	講義・実技	Powerpoint: スマートアート	授業の復習として宿題を課す
13	9月10日	講義・実技	Powerpoint: アニメーションや画面効果	授業の復習として宿題を課す
14	9月17日	講義・実技	Powerpoint: プレゼンテーションを作る	授業の復習として宿題を課す
15	9月24日	試験	word・Powerpoint: 試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅢ A	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小梨貞文
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋一3年A	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 (2)		
教員の略歴	イラストレーター デッサン講師歴20年						
授業の学習 内容	描くモチーフを写真撮影やエスキースなどを使用して、構図や画面構成を考える。鉛筆の技術を身につける。鉛筆の種類、芯の硬さの選び方、芯の削り具合、筆圧を変える必然性を学ばせる。落ち着いて丁寧に、正確な表現になるまで描き直す。複数の題材を組み合わせ、相違点を比較しその対象の描かれるべき特徴を捉える。光源の位置を確認し、モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつけさせる。モデルを使用したクロッキー、スケッチにより人体の構造を把握する。						
到達目標	題材の位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。正確に形を捉える能力を養う。構図、画面構成の視覚的効果を実感し、納得のいく構図になるまで描き直す習慣と伝達手段として考えて描く行為を身につけさせる。陰影を単なる現象として描写するのではなく、形や色を再現する為の表現手段として捉える力を養う。ポートフォリオにいれることのできる完成度のあるデッサンを制作する。イラストに繋がる視覚的意図のある表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	■出席率：50% ■評価点（課題評価）：50% 作品の完成度、提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容					
回数 回数	日程日程	授業形態	授業形態	学習内容 学習内容	外学習(学習課題) 準備学習 時間外学
1	04月19日	実技		静物デッサン ガラスと石	
2	04月26日	実技		前回の続き ガラスと石	
3	05月10日	実技		クロッキー 人体模写	写真使用した人体模写
4	05月17日	実技		人体デッサン 女性モデル着衣	クロッキーを元にした人体スケッチ
5	05月24日	実技		美術鑑賞 ムーミン展	トーベヤンソンについて予習
6	05月31日	実技		植物スケッチ	植物画2種類制作
7	06月14日	実技		静物デッサン 金属と野菜及び果実	
8	06月21日	実技		前回の続き 金属と野菜及び果実	
9	06月28日	実技		クロッキー、人体模写、石膏デッサン	写真使用した人体模写
10	07月05日	実技		人体デッサン 女性モデルヌード	クロッキーを元にした人体スケッチ
11	07月12日	実技		静物デッサン 薪と縄	
12	07月19日	実技		前回の続き 薪と縄	
13	09月06日	実技		静物デッサン 幾何形体とリンゴ	
14	09月13日	実技		前回の続き 幾何形体とリンゴ	
15	09月20日	試験		課題評価試験	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					
プリントの配布					

科目名	就職試験対策	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	宇津木 洋子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼一3年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)		
教員の略歴	日本語講師資格、ビジネス講師資格 専門学校講師歴20年						
授業の学習 内容	就職活動で必須となるSPIへの対策に特化した授業です。毎回、言語、非言語の両分野からそれぞれテーマを決め、問題を解いていきます。特に非言語分野は、数学に苦手意識のある人向けに、基礎的な例題を用いて丁寧に解説します。また、一般常識問題や英語、構造的把握力検査、性格検査も取り上げます。						
到達目標	就職活動で実施されるSPI試験に対して、自信をもって臨めるようになる。						
評価方法と基準	期末試験40%、出席40%、授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月26日	講義・演習	SPIとは/言語:二語の関係/非言語:計算の基礎	SPI模試練習(最低週1回100分)
2	5月10日	講義・演習	熟語の成り立ち/時間・距離・速度/一般常識:選挙制度	SPI模試練習(最低週1回100分)
3	5月17日	講義・演習	語句の意味/旅人残/国会・内閣・裁判所	SPI模試練習(最低週1回100分)
4	5月24日	講義・演習	語句の用法/損益算/司法・法律	SPI模試練習(最低週1回100分)
5	5月31日	講義・演習	適文補充/分割払い/再生医療/英語	SPI模試練習(最低週1回100分)
6	6月14日	講義・演習	三文完成/表計算・資料解釈/年金・社会保障	SPI模試練習(最低週1回100分)
7	6月21日	講義・演習	適語補充/集合/国際機関	SPI模試練習(最低週1回100分)
8	6月28日	講義・演習	文の並び替え/推論・論理/国連/英語	SPI模試練習(最低週1回100分)
9	7月5日	講義・演習	長文読解/推論・対応/地震・火山・気象	SPI模試練習(最低週1回100分)
10	7月12日	講義・演習	長文読解/料金の割引/世界地理	SPI模試練習(最低週1回100分)
11	7月19日	模擬試験	SPI模試	SPI模試練習(最低週1回100分)
12	9月6日	講義・演習	構造的把握力/料金の精算/オリンピック	SPI模試練習(最低週1回100分)
13	9月13日	期末試験	期末試験	SPI模試練習(最低週1回100分)
14	9月20日	講義・演習	期末試験解説/性格検査	SPI模試練習(最低週1回100分)
15	9月27日	模擬試験	SPI II 模試	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
『SPI3 & テストセンター』、『一問一答 一般常識』				

科目名	ビジネスツールⅡ	必修 選択	選択	年次	3年	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋-3年B	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 (2単位)		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word及びMicrosoft Powerpointの操作と機能について、1年次に学んだ事項の復習と応用的な知識を身につける。						
到達目標	アプリケーションの特徴を活かしてビジネス書類の作成ができるようにする。 社会人基礎力として、出席率を重視する。						
評価方法と基準	出席率:50% 評価点(課題評価):50%(各授業の中で演習する書類をきちんと作成する。宿題を提出する)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	ガイダンス	自己紹介、授業内容の説明、PCの総合的な理解	
2	4月26日	講義・演習	word:基本的な入力・編集・操作の復習。	授業の復習として宿題を課す
3	5月10日	講義・演習	word:各種文字修飾、文書レイアウト	授業の復習として宿題を課す
4	5月17日	講義・演習	word:各種文字修飾、文書レイアウト	授業の復習として宿題を課す
5	5月24日	講義・演習	word:図形、画像の利用	授業の復習として宿題を課す
6	5月31日	講義・演習	word:表組みの作り方	授業の復習として宿題を課す
7	6月14日	講義・演習	word:ビジネス文書作成	授業の復習として宿題を課す
8	6月21日	講義・演習	Powerpoint:基本的な入力・編集・操作。	授業の復習として宿題を課す
9	6月28日	講義・演習	Powerpoint:スライドの作り方	授業の復習として宿題を課す
10	7月5日	講義・演習	Powerpoint:図形、画像、表組みの利用	授業の復習として宿題を課す
11	7月12日	講義・演習	Powerpoint:良いスライドを作るには	授業の復習として宿題を課す
12	7月19日	講義・演習	Powerpoint:スマートアート	授業の復習として宿題を課す
13	9月6日	講義・演習	Powerpoint:アニメーションや画面効果	授業の復習として宿題を課す
14	9月13日	講義・演習	Powerpoint:プレゼンテーションを作る	授業の復習として宿題を課す
15	9月20日	試験	word・Powerpoint:試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	卒業制作B	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	野添梨麻
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼-3年B	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 (2)		
教員の略歴	フリーライター。アニメ、ドラマの脚本およびその作品の絵本化、ノベライズ。マンガ原作、エッセイ、紀行文、新聞雑誌の記事を手がける。						
授業の学習 内容	自分にできることとできないことを見きわめる。方向性(作品、生き方の両方)をはっきりさせる。自作品の工程とスケジュールの管理をする。リアリティを意識して五感で表現をする。						
到達目標	面白いものを書く。原稿料を得る。三年間の集大成になる作品を全力で作る。社会人基礎力として出席率を重視する。						
評価方法と基準	出席率:全部出席で50点。評価点:日頃の提出物と筆記試験あわせて最高50点。合計で最高100点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	作品の再起動:これまで書いた作品を「資源」とみなし、総決算の卒業制作に向けて見直し、再検討をする。	筆記用具、USBメモリなど、メモのとれるものを持って来てください。筆記用具は常に持っているようにしてください。
2	4月26日	実技	自分のための企画書:卒業制作を自分専用の企画書の形にする。その後、本編の制作に着手。	ライトノベル以外のジャンルの娯楽を体験しておくこと。
3	5月10日	講義・実技	物語の制作過程:拙作アニメ『ほしの島のにゃんこ』を教材に、どうしてこういう話になったのかの制作過程を公開。	同上
4	5月17日	講義・実技	物語の制作過程:拙作アニメ『星のカービィ』を教材に、どうしてこういう話になったのかの制作過程を公開。	改元に際してどう思ったか。感想を書いておく。
5	5月24日	講義・実技	物語の制作過程:拙作ドラマ『超星神グランセイザー』を教材に、どうしてこういう話になったのかの制作過程を公開。	「5月といえば？」気が付いた出来事や年中行事を書き留めておく。
6	5月31日	講義・実技	映像表現と作劇術:同じエピソードでも客層によって反応が違う? 具体例を映画『男はつらいよ』から。	筆ペンで百人一首の和歌を一首書きとる。
7	6月14日	講義・実技	映像表現と作劇術:同じ小道具をどう呼ぶかでキャラクターの違いを見せる技術。映画『ハードウェイ』から。	「6月といえば？」気が付いた出来事や年中行事を書き留めておく。
8	6月21日	講義・実技	映像表現と作劇術:時間経過のサスペンスの見せ方。ドラマ『24』から。	古典落語の噺(はなし)を調べておく。
9	6月28日	講義・実技	映像表現と作劇術:通動風景を描写しながらキャラクターも立てる技術。映画『ワーキングガール』から。	歌舞伎の物語を調べておく。
10	7月5日	講義・実技	映像表現と作劇術:同じテーマなのに正反対の印象に仕上がる表現の違い。映画『サウンドオブミュージック』『禁じられた遊び』から。	「7月といえば？」気が付いた出来事や年中行事を書き留めておく。
11	7月12日	講義・実技	映像表現と作劇術:よく知られた古典も解釈の仕方で違った見せ方ができる。ディズニー映画『シンデレラ』から。	クラシック音楽を聞いておく。
12	7月19日	講義・実技	映像表現と作劇術:キャラ立てと伏線の張り方のお手本。映画『エアフォースワン』から。	「8月といえば？」気が付いた出来事や年中行事を書き留めておく。
13	9月6日	講義・実技	映像表現と作劇術:主人公の気持ちを表すための演出。映画『雨に唄えば』から。	「9月といえば？」気が付いた出来事や年中行事を書き留めておく。
14	9月13日	講義・実技	映像表現と作劇術:ラストシーンのバリエーション。映画『シェーン』『北西に遡るをたれ』から。	名作映画を一本見ておく。
15	9月20日	講義	3年間の総括:今までの作品を総洗いし、今後の文筆活動に役立てます。	なし
準備学習 時間外学習			時間外学習:視野をひろげること、自分から情報を取りに行く姿勢を身につけることに主眼を置いています。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回プリントを出します。紙ベースでも配りますが、データで持っていきたい場合はUSBなどのメモリを持参してください。				